

日本私立大学協会は、2021年4月1日付けで、会長に小原芳明
玉川大学理事長・学長が就任いたしましたことをお知らせします。



小原 芳明 (おばら よしあき)
プロフィール

昭和21年生まれ、74歳。
スタンフォード大学大学院修了。
昭和62年4月玉川大学文学部教授(現在に至る)、平成6年4月から学校法人玉川学園理事長・学園長・玉川大学学長。
平成24年4月に日本私立大学協会常務理事、令和2年6月から同協会副会長。10月23日に同協会会長代行に就任。
そのほか、平成28年7月から一般社団法人全国私立大学教職課程協会会長、令和元年6月から公益財団法人私立大学退職金財団理事長に就任。

日本私立大学協会は、全国の391学校法人410大学(2021年4月1日現在)が加盟する最大規模の私立大学団体です。全国に北海道支部、東北支部、中部支部、関西支部、中国・四国支部、九州支部、関東地区連絡協議会といった、7つの支部・連絡協議会を設置して、綿密なネットワークを構築しています。

新型コロナウイルス感染症の情勢に鑑み、本協会第154回総会(令和3年春季)の書面による表決結果において、これまで会長代行を務めていた小原芳明玉川大学理事長・学長が会長に就任することが決まりました。

新会長就任コメント

日本私立大学協会は、昭和21年の創立以来70余年、戦後の日本社会の発展のために、日本の高等教育の振興、特に私立大学の充実、強化を推進してまいりました。現在、本協会は、400を超える私立大学が加盟し、全国7地域に、支部・連絡協議会を設置し、それぞれの地域の活性化、地域社会に必要な人材育成に尽力しております。

日本の高等教育、特に学部学生のおよそ8割の人材育成を担う私立大学は、時代の進展と多様化した社会の要請に応えるため、教育の質の継続的改善や研究の高度化等の諸課題に精力的に取り組んでいます。

また、いまこのときも、2020年の新型コロナウイルス感染症拡大によるパンデミックを乗り越え、どのような形で大学教育を行っていくのかといった大きな課題に挑んでいます。危機的状況を乗り越えるために、多くの知が集積され、最適な方向性が模索されました。これまでの枠組みから一歩踏み出して、新たな枠組み作りに向けて、自ら切り開いていく、あるいは選択しなくてはならない時代にあります。

次なる時代に向けて、各大学であらためて進むべき方向を定めるとき、それは、社会のデジタルトランスフォーメーションとあいまって、我々大学人もこれからの大学教育、人材育成の在り方において、必要な改革を進めていかななくてはなりません。新たな時代、新たな社会の原動力となるのは多様で重層的な人材です。さらに、変化の激しい時代にあって適応し、新たな変化を生み出せる能力を持つ人材が求められています。

新時代(Post-Pandemic)に相応しい知識と技能を備えた人材を育成する私立大学となることをめざし、いまこそまさに、私立大学に重きをおく高等教育政策への構造的な大転換の時と捉え、その「パラダイムシフト」実現に向けて、加盟大学一丸となり努力を続けてまいります。

多様な価値追求と創造的挑戦により、日本がこれから向かう新たな社会づくりに貢献してまいりますので、引き続き皆さまからのご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

このリリースのお問い合わせ先

日本私立大学協会 TEL:03-3261-7048

藤館

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館9階